



# 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月31日

上場会社名 株式会社 エイジス  
 コード番号 4659 URL <http://www.ajis.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 昭生  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 西岡 博之  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 043-350-0567

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	5,578	3.9	271	23.3	279	24.6	145	38.9
29年3月期第1四半期	5,366	16.4	353	535.4	370	377.0	237	284.3

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 146百万円 (36.6%) 29年3月期第1四半期 230百万円 (147.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	16.50	
29年3月期第1四半期	27.01	

(注) 当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	14,462	11,379	77.8
29年3月期	15,322	11,593	74.8

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 11,247百万円 29年3月期 11,463百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		80.00	80.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行いました。平成29年3月期については、当該株式分割前の実際の配当の額を記載しております。

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,600	8.1	1,520	1.4	1,530	1.7	1,050	1.8	119.24
通期	28,050	8.6	3,100	1.3	3,130	1.3	2,144	0.9	243.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	10,771,200 株	29年3月期	10,771,200 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期1Q	1,965,528 株	29年3月期	1,965,528 株
----------	-------------	--------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	8,805,672 株	29年3月期1Q	8,805,742 株
----------	-------------	----------	-------------

(注)当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善等により景気は緩やかな回復基調が続きました。当社グループの主要顧客であります流通小売業界におきましては、消費者の節約志向や低価格志向が継続し、業種・業態を超えた競争の激化および人材確保が困難な状況が続く等、依然厳しい経営環境が続いております。

セグメントの概況は次のとおりであります。

## ① 国内棚卸サービス

国内棚卸サービスにおいては、「収益力強化」を中期課題と位置づけ、前期より引き続き取り組んでまいりました。重点施策である棚卸閑散期の業容拡大については、前第1四半期連結累計期間は棚卸業務にプラスして臨時の大型成約があり前々期比較で大きく売上を伸ばすことができましたが、当第1四半期連結累計期間についてはベースの棚卸業務は引き続き安定して引き合いがあったものの、前期臨時の大型成約の反動等により、売上高3,485百万円（前年同期比3.6%減）となりました。セグメント利益についても売上減の影響が大きく、138百万円（前年同期比43.1%減）となりました。

## ② リテイルサポートサービス

リテイルサポートサービスにおいては、前期に引き続き売上増加傾向で推移し、売上高は1,620百万円（前年同期比22.9%増）、セグメント利益は128百万円（前年同期比26.5%増）となりました。エイジスマーチャンダイジングサービス株式会社、エイジスリサーチ株式会社ともに前年同期比較で売上・利益を大きく伸張させ、堅調に推移しております。

## ③ 海外棚卸サービス

海外棚卸サービスにおいては売上高473百万円（前年同期比9.4%増）、セグメント利益は1百万円（前年同期比77.8%減）となりました。増収を確保し、利益面についても前期に引き続き黒字で推移しました。

これらの結果から、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高5,578百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益271百万円（前年同期比23.3%減）、経常利益279百万円（前年同期比24.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益145百万円（前年同期比38.9%減）となりました。

当社グループの売上高の特徴として、国内棚卸サービスの閑散期である第1四半期連結会計期間および第3四半期連結会計期間の売上高は少なく、国内の主要な顧客であります流通小売業界の決算が集中する第2四半期連結会計期間および第4四半期連結会計期間は繁忙期となり売上高が多くなる傾向があります。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は14,462百万円（前連結会計年度比5.6%減）となりました。これは、主として第1四半期連結会計期間は閑散期につき前連結会計年度と比較して売掛金が減少したことによるものです。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は3,083百万円（前連結会計年度比17.3%減）となりました。これは、主として閑散期による給与の未払金の減少および未払法人税等を納付したことによるものです。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は11,379百万円（前連結会計年度比1.8%減）となりました。これは、主として配当金の支払により利益剰余金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績経過は概ね計画通りの推移となっておりますので、現時点での通期業績予測につきましては、平成29年5月10日に発表いたしました「平成29年3月期決算短信」に記載の業績予想と変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,247,793	7,228,619
受取手形及び売掛金	3,604,327	2,561,894
貯蔵品	40,350	48,361
その他	393,565	395,373
流動資産合計	11,286,036	10,234,249
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,276,394	1,276,394
その他(純額)	804,827	871,767
有形固定資産合計	2,081,222	2,148,162
無形固定資産	460,081	485,734
投資その他の資産		
その他	1,494,688	1,594,207
投資その他の資産合計	1,494,688	1,594,207
固定資産合計	4,035,992	4,228,104
資産合計	15,322,028	14,462,354
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	92,709	92,553
未払金	1,967,598	1,812,520
未払法人税等	495,023	130,856
賞与引当金	403,450	212,420
役員賞与引当金	15,340	4,588
その他	658,659	733,691
流動負債合計	3,632,780	2,986,631
固定負債		
退職給付に係る負債	3,685	4,008
その他	92,380	92,474
固定負債合計	96,066	96,482
負債合計	3,728,847	3,083,114

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	475,000	475,000
資本剰余金	491,820	492,088
利益剰余金	12,940,957	12,734,004
自己株式	△2,463,565	△2,463,565
株主資本合計	11,444,212	11,237,527
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,880	47,696
為替換算調整勘定	△22,363	△38,177
その他の包括利益累計額合計	19,516	9,519
非支配株主持分	129,451	132,193
純資産合計	11,593,181	11,379,240
負債純資産合計	15,322,028	14,462,354

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	5,366,843	5,578,823
売上原価	3,884,813	4,277,468
売上総利益	1,482,029	1,301,355
販売費及び一般管理費	1,128,172	1,029,915
営業利益	353,856	271,439
営業外収益		
受取利息	1,553	2,320
受取配当金	4,576	4,880
受取賃貸料	5,145	5,401
物品売却益	4,723	—
その他	8,239	5,771
営業外収益合計	24,239	18,374
営業外費用		
支払利息	644	251
為替差損	3,938	6,887
賃貸費用	2,665	2,618
その他	—	381
営業外費用合計	7,249	10,139
経常利益	370,847	279,674
税金等調整前四半期純利益	370,847	279,674
法人税等	122,465	123,462
四半期純利益	248,382	156,212
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,569	10,939
親会社株主に帰属する四半期純利益	237,812	145,273

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	248,382	156,212
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,981	5,815
為替換算調整勘定	△8,639	△15,831
その他の包括利益合計	△17,621	△10,015
四半期包括利益	230,760	146,196
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	220,311	135,275
非支配株主に係る四半期包括利益	10,449	10,920

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

## (セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	海外棚卸サービス	リテイルサポートサービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,615,691	432,681	1,318,470	5,366,843
セグメント間の内部売上高又は振替高	20,066	—	33,887	53,953
計	3,635,757	432,681	1,352,357	5,420,796
セグメント利益	242,952	6,450	101,524	350,927

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	350,927
セグメント間取引消去	2,929
四半期連結損益計算書の営業利益	353,856

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	海外棚卸サービス	リテイルサポートサービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,485,237	473,295	1,620,291	5,578,823
セグメント間の内部売上高又は振替高	22,471	—	10,749	33,220
計	3,507,708	473,295	1,631,040	5,612,044
セグメント利益	138,263	1,434	128,411	268,108

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	268,108
セグメント間取引消去	3,330
四半期連結損益計算書の営業利益	271,439

以 上